

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成18年3月

(平成18年2月末調査)

平成18年3月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【1月】	諏訪公共職業安定所管内	1.27 倍	0.07 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.51 倍	0.24 ポイント
手形交換高【2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	12,249 枚	9.6 %
	金 額	14,131 百万円	3.4 %
うち不渡り発生状況	枚 数	10 枚	8 枚
	金 額	2,237 千円	1,869 千円
車庫証明取扱件数【2月】 (諏訪・岡谷家用自動車協会管内)		1,349 件	7.3 %
新設住宅着工件数(17年4月~18年1月) (諏訪地方事務所管内)		1,819 件	0.8 %

概 況

地域の製造業

輸送用機械、産業機械関連企業は引き続き高水準の生産を続けており光学機器部品や半導体関連部品などに受注増加企業が見られる。一部受注減少企業が見られるが全体として生産状況は高水準となっている。

自動車関連下請企業の受注は安定しており、原材料の値上がりや受注単価引き下げなどの課題を抱えながらも当面安定した受注が続くとみる企業が多い。

省力化、自動化、専用機や検査装置など設備関連企業の受注は順調で繁忙な企業が多くなっている。

工作機械は自動車部品やOA機器の部品加工機械など引き続き順調な生産が続いている。

地域製造業の景況は生産調整の企業が一部にみられるなど企業により区々となっているが、受注動向や雇用状況から全体としては幾分回復している。

商業

2月は周期的に天候が崩れ曇りや雨または雪の日が多く外出を控える消費者もあり、総じては例年同様幾分低調であった。バレンタインデーのチョコレートは例年を上回る売れ行きをみせ、進入学・卒園シーズンを前に、スーツや関連衣料品の出足が早く前年を上回る動きとなっている。

食料品は店舗間競争が激しく、チラシや広告により店舗を移動する消費者もみられるが不順な天候の影響もあり来店客数が減少した店舗や客単価が下がった店舗がみられるなど幾分低調となっている。

衣料品は、女性のスーツなど例年より出足が早く順調な売れ行きをみせた店舗がみられたが、

衣料品総体の売れ行きはやや低調であった。

大型家電店は、大型薄型TVが引き続き堅調な動きのほか全自動洗濯乾燥機など売れ行き順調な商品がみられたが総体では前年並みの売れ行きとなっている。

ホームセンターは、年度末を迎え新生活商品などに動きがみられた。

観光

12月初旬の降雪でスキー場のオープンが早まったことなどからスキー客の入り込みが多く例年を上回る賑わいを見せたが、2月は1日の降雨をはじめ月間を通して周期的に天候が崩れたことからスキー客が減少するなど高原の観光地への入込みはピーク時に比べ低調となった。

宿泊客は旅館・ホテルにより増加減少区々となっているが、総体では前年を幾分割り込んだ模様。

上諏訪の旅館・ホテルの宿泊客も施設により増加減少区々となっている。小規模の宴会などが増加したところもみられたが、総体では前年を幾分割り込んだ模様。

蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊客は区々となっているがスキー客が減少したことから総体では平年並みとなった模様。

下諏訪温泉は低調な時期を迎え平年並みとなっている。

諏訪大社は例年低調な月で参拝客は上社 17千人、下社 15千人となっている。

建設業

市町村の2月の発注工事は 355百万円で前年同月比 95百万円増加した。地元企業への県発注工事は 244百万円で、前年同月比 170百万円増加した。県・市町村合わせた2月の公共工事の地元企業受注額は、599百万円で前年同月比 265百万円増加した。民間工事では1月の新設住宅着工件数は 97戸で前年同月比 29戸減少した。

17年4月～18年1月の累計着工戸数は 1,819戸で前年同期の累計着工戸数に比べ 14戸増加した。建築工事は民間工事が幾分増加しており予定の受注を確保したところもみられるが土木工事は依然低調となっている。

雇用

1月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所 1.27倍、岡谷公共職業安定所 1.51倍で諏訪地域の有効求人倍率は 1.36倍と長野県の 1.20倍を上回っている。諏訪職安、岡谷職安合わせた1月の新規求人(全数)は 1,723人で前月より 136人増加した。製造業からの新規求人は 498人で前月より 135人増えている。

地域の有効求人倍率は平成15年10月以降 28ヶ月連続して1倍台を維持している。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業種別動向

1. 電気機器
 - プリント基板 携帯電話、パソコン、デジタル家電などの基板は高水準の生産が続いており全体として受注は幾分増加している。
 - コンデンサー フィルムコンデンサーの受注は増加している。
 - プリンター 下請け企業の受注状況は区々となっている。部品加工など増加しているところもみられるが組み立ては横這いとなっている。
 - コンダクター・リレー 受注は幾分増加しており堅調な生産が続いている。
2. 輸送用機械
 - 自動車 国内メーカーは安定した生産を続けており下請け企業の受注は安定している。新たに自動車関連の受注を目指す企業が増えつつある。二輪車部品の受注は減少している。
 - ピストンリング・シリンダーライナー メーカーは順調な生産を続けており下請け企業の受注は安定している。
 - 船外機 輸出が順調で外注企業は高水準の生産を続けている。
3. 一般機械
 - 工作機械 自動車部品やOA部品の加工機械は堅調な生産を続けている。
 - 専用機・省力機器 専用機械、省力化機械など産業機械の受注は安定しており高水準の生産を続けているところが多い。
 - 搬送用機械 デジタル家電企業や食品企業などの受注によりフル稼働の生産が続いている。
 - 金型 情報機器や音響機器の金型受注は機種により増減区々となっている。高水準のまま横這い状況のところもみられるが、商品サイクルが短いことから変動が大きい。
 - アルミダイキャスト 自動車部品や電源機部品など高水準の生産を続けているところがみられる。受注状況は区々で総体としては増加している。
4. カメラ・レンズ
 - デジタルカメラ デジタルカメラの1月の生産台数は 371万台で、前月比 32.0%、前年同月比 7.1%の減となっている。1月の出荷台数は国内出荷 50万台、輸出 332万台で出荷台数全体では前月比 29.7%前年同月比 4.4%の増となっている。(カメラ映像機器工業会)
海外生産が主流となっており地域の下請企業の受注状況は区々となっているが、高級1眼レフの部品の受注が大幅に増加したところもみられる。地域の下請け企業の受注動向は、親企業により増加、横這区々となっている。
 - プロジェクター メーカー各社の海外生産比率が高まり下請け企業の受注は減少しており前年同期比では大幅に減少している。

- デジタルミニラボ 普及率が高くなっていることから出荷が幾分弱含みとなり、生産台数は減少している。
- レ ン ズ ガラスレンズの生産は海外が主体となっている。国内のガラスレンズの生産量は減少しており総体でも幾分減少傾向となっている。
- 5 . 織 維
ニ ッ ト 春物から夏物ニットの生産時期を迎えている。全国的にはウォームピズ効果から売れ行きを伸ばしたニット商品がみられた。専門店が春の気象を慎重にみており発注が遅れ気味のところもあり総じて生産は例年並みとなっている。
ホールガーメントの受注は安定し順調な稼動となっている。
- 6 . 食 品
寒 天 2月は天候不順の影響を受け一部企業の生産に支障をきたしたが、全体では例年を1割から2割上回る生産量が見込まれている。
- 味 噌 需要期で出荷は前年並となっている。
- 7 . 製 材
諏訪地域の1月の木造住宅着工件数は 69戸で前月比 28戸減少した。合板は都心地域の需要が高く原油高騰による輸送コスト高の影響などから幾分値上がりしている。アメリカ、ロシアからの輸入材は原油高騰や円安から12月以降10%程度値上がりした。
- 8 . 建 設
公 共 工 事 2月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所 7件、林道治山工事関係 2件、土地改良工事 2件他合わせて 14件、契約金額 244百万円となっている。17.4月～18.2月の累計契約額は 2,713百万円で前年同期累計比 1,175百万円の減少。
市町村発注工事は、建築工事 12件 132百万円、土木工事・下水道工事など 41件 179百万円、その他工事 9件 44百万円で合計 62件 355百万円で前年2月に比べ 95百万円増加した。
- 民 間 工 事 1月の新設住宅着工件数は 97戸で、前年1月比 29戸減少した。
17年4月から18年1月の累計着工件数は 1,819戸で前年同月累計比 14戸増となっている。
建築工事は動きが見られるが、土木工事は低調に推移している。

9. 商業

諏訪地方の2月の天候は周期的に崩れ、曇りや雨または雪の日が多かった。

バレンタインデーのチョコレートの売れ行きは前年を大幅に上回ったとの明るい話題や節分には寿司が良く売れたとの話も聞かれたが、商業全般では消費は総じては低調で前年並みの売り上げとなった店舗が多い。

衣 料 春物衣料の動きがやや低調の中、進入学、卒園シーズンを前にスーツや関連衣料の動きは年々早まり前年を上回る動きとなっている。

食 料 品 店舗間競争が続キチラシ、広告により消費者が店舗を移動して購入するなどの動きが続いているが、客単価が下がっており食料品の売れ行きは幾分低調であった。

電 気 機 器 薄型大型TVは堅調な売れ行きをみせ全自動洗濯乾燥機も好調な売れ行きをみせたが全体では前年並みとなっている。

自 動 車 諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数(軽自動車除く)は 1,349台で、前月比 175台減少し、前年同月比 7.3%減少した。
軽自動車は引き続き好調な売れ行きをみせているが、普通乗用車の売れ行きが幾分低調となっておりガソリンの値上がりの影響も窺える。

ホームセンター 年度末を迎え新生活商品に動きがみられた。

デパート 来店客数は幾分増加しており紳士、女性衣料は順調な売れ行きを見せ、バレンタインデーのチョコレートも好評であった。

10. 観光

今シーズンは12月初旬の降雪でスキー場のオープンが早まったことなどからスキー客の入り込みが多く例年を上回る賑わいを見せたが、2月は1日に大雨が降るなど周期的に天候が崩れスキー客が減少し2月の高原の観光地はピーク時に比べ低調となった。

宿泊客は施設により区々となっているが、全体では前年を幾分割り込んだ模様。

上 諏 訪 温 泉 宿泊客は旅館・ホテルにより増加減少区々となっている。小規模の宴会は増加したところがみられるが総体では前年並みとなった模様。

蓼科・白樺湖・車山 12月上旬の降雪によりスキー場のオープンが早まり年末年始を含めスキー場は大変賑わったが、2月は周期的に天候が崩れたこともありスキー客が減少した。宿泊客は旅館、ホテルなど施設により増加減少区々となっている。総体では前年を割り込んだ模様。

下 諏 訪 温 泉 例年低調な時期で前年同期比では宿泊客は増加、減少区々となっているが総体では前年並みとなっている。

諏 訪 大 社 参拝客の少ない月となっており上社・下社合わせて参拝客は 32,074人で前年とほぼ同数となっている。

トピックス

最近の長野県経済の動向

(2006年3月6日) 日本銀行松本支店

2006年1月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

長野県経済は、緩やかな回復が続いている。

足もとの最終需要の動向をみると、**設備投資**は、引き続き増加しているほか、**輸出**も、持ち直している。また、**住宅投資**は、市部を中心に堅調な動きとなっており、**公共投資**は、市町村発注分の増加を主因に、前年を上回った。この間、**個人消費**は、乗用車販売が弱めの動きとなっているほか、寒気の緩みなどを受けて衣料品の売れ行きも鈍っているが、食料品や家電製品を中心に基調としては底堅い動きが続いている。

以上のような最終需要のもとで、生産は、産業機械向けおよび自動車向けが高水準の生産を維持しているほか、IT関連財の生産も引き続き回復している。こうした中、雇用面をみると、企業活動の活発化を映じて新規求人数が増加したことから、有効求人倍率は6ヶ月連続で上昇した。一方、所得面は、所定内給与の増加が続いている中で、所定外給与が回復しているなど、着実に改善している。

個別業界の動向

(生産)

半導体関連では、シリコンウエハが自動車関連・デジタル家電向けを中心に生産水準を一段と引き上げているほか、半導体素子もデジタル家電向けの好調から高水準の生産を続けている。一方、リードフレームの生産は、伸び悩んだ。

電子部品では、抵抗器の生産は、デジタル家電、携帯電話向けを中心に生産水準を引き上げている。また、モーターとコンデンサの生産は、横ばいで推移している。

情報機器では、プリンターは、複合機タイプの販売堅調を背景に、また、県内生産分のパソコン(ノートブック型)も、デザイン性を重視したモデルの販売堅調を受けて、高目の生産水準を維持している。一方、デジタルカメラは、販売の伸び悩みを受けて、生産は低調に推移している。

自動車部品は、国内向けが販売台数の減少を受けてやや鈍化しているものの、引き続き海外向けが増加基調にあることから、全体として高水準の生産が続いている。

工作機械は、国内外の自動車向けや情報関連機器向けが好調なことから、生産水準を一段と引き上げている。

味噌の出荷は、横ばい圏内で推移している。

(個人消費)

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、ウエイトの高い食料品は、野菜価格が上昇した中で、鍋物需要の増加等から引き続き前年を上回った。もっとも、衣料品および身の回り品は、1月中旬以降の気温上昇や前年の大型セールsの反動を背景に、それぞれ売り上げが減少したことから、全体では3ヶ月振りに前年を下回った。

家電販売は、暖房器具の販売が減少したものの、デジタル家電や白物家電、パソコンが好調を維持したことから、全体では堅調な販売が続いている。

自動車販売をみると、軽四輪が新型車投入効果等により全年を上回ったものの、小型車および普通車が引き続き減少したことから、全体では再び前年を下回った。

(建設)

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、県外業者との競争が続いているものの、マンション建設や小型の設備投資案件がみられるなど、持ち直しつつある。

公共工事請負額は、市町村発注分の増加を主因に、前年を上回った。

住宅着工戸数は、貸家や持家の着工が市部を中心に増加しており、堅調な動きとなっている。